

第2期呉市国民健康保険データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画の策定について

1 計画策定の趣旨と位置付け

(1) 計画策定の趣旨

来年度から呉市は、広島県と国民健康保険（以下「国保」といいます。）の保険者として、共同運営を行うこととなりますが、保健事業は、引き続き呉市で行います。これまでも呉市では事業の実施に当たり、診療報酬明細書（以下「レセプト」といいます。）や特定健康診査（以下「特定健診」といいます。）の結果から得られる健康・医療情報を活用して効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るためのデータヘルス計画及び保険者規模、加入者の年齢構成、地域的条件等の実情を考慮し、特定健診・特定保健指導を効率的・効果的かつ着実に実施するための特定健康診査等実施計画を策定し、国民健康保険被保険者（以下「国保被保険者」といいます。）の健康維持を図るとともに、医療費の適正化及び国保財政の安定化に資するよう努めてきました。これらの計画は本年度が最終年度であることから次期計画（以下、「本計画」といいます。）を策定します。

(2) 本計画の位置付け

本計画は、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（平成16年厚生労働省告示第307号）により策定が求められているデータヘルス計画及び高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）第19条第1項により保険者が定めることとされている特定健康診査等実施計画に位置付けられるもので、特定健康診査等実施計画における取組はデータヘルス計画で記載が求められる内容に含まれることから、両計画を一体的に作成します。

なお、上位計画である「第4次呉市長期総合計画」や、現在策定中の「第3次健康くれ21（健康増進計画・食育推進計画）」などの関係計画との整合性を図ります。

2 本計画の概要等

(1) 本計画の期間

本計画の期間は、広島県の医療費適正化計画及び保健医療計画の次期計画期間と合わせ平成30年度から平成35年度までの6年間とします。

(2) 実施体制

国保被保険者の健康の保持増進には幅広い課が関わることから、保険年金課を主体とし、福祉保健課、介護保険課、健康増進課等の関係課と十分に連携し実施します。また、広島県、他の医療保険者及び広島県国民健康保険団体連合会（以下「国保連」といいます。）並びに外部有識者（呉市医師会、呉市歯科医師会、呉市薬剤師会等）と連携・協力するよう努めます。

3 呉市国保の特性

平成29年度当初の呉市の人口，高齢化率，国保被保険者数，国保被保険者の高齢化率は次のとおりです。

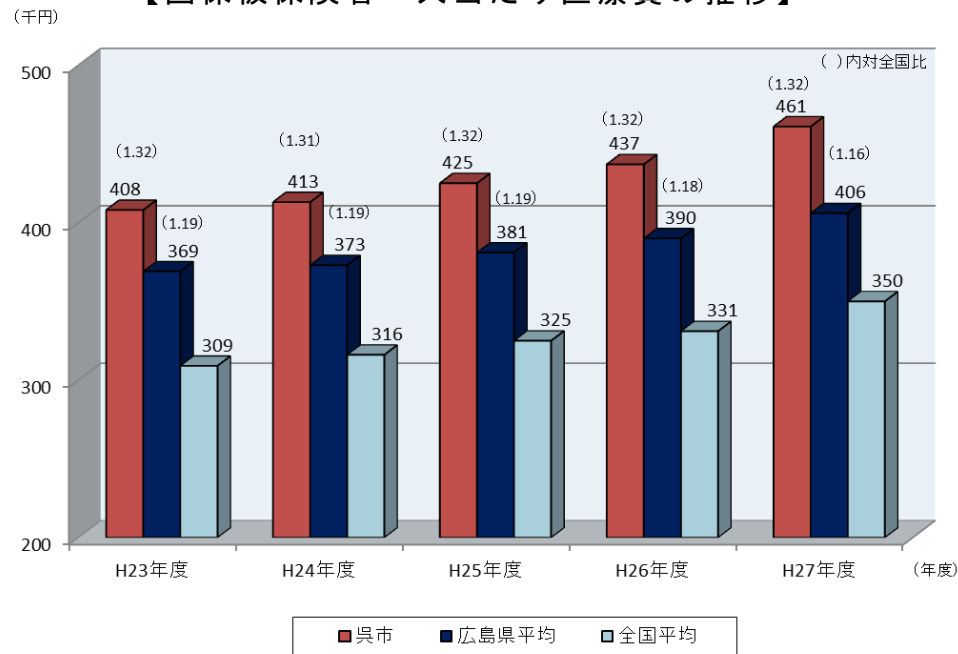
- (1) 人口 229,868人
- (2) 高齢化率 約34%
- (3) 国保被保険者 46,852人
- (4) 国保被保険者の高齢化率 約55%

呉市の高齢化率は同規模人口の都市の中では最も高く，国保被保険者においては，その高齢化率はより高くなります。

また，呉市内に400床以上の病床を有する大規模な病院が3機関存在することに加え，中規模の病院が充実していることから，医療機関にアクセスしやすい環境が整っています。

これらのことなどから，呉市の国保被保険者一人当たりの医療費は，全国平均と比べ高い状況が続いています。

【国保被保険者一人当たり医療費の推移】



国保事業年報より

4 第1期データヘルス計画及び第2期特定健康診査等実施計画の成果と課題

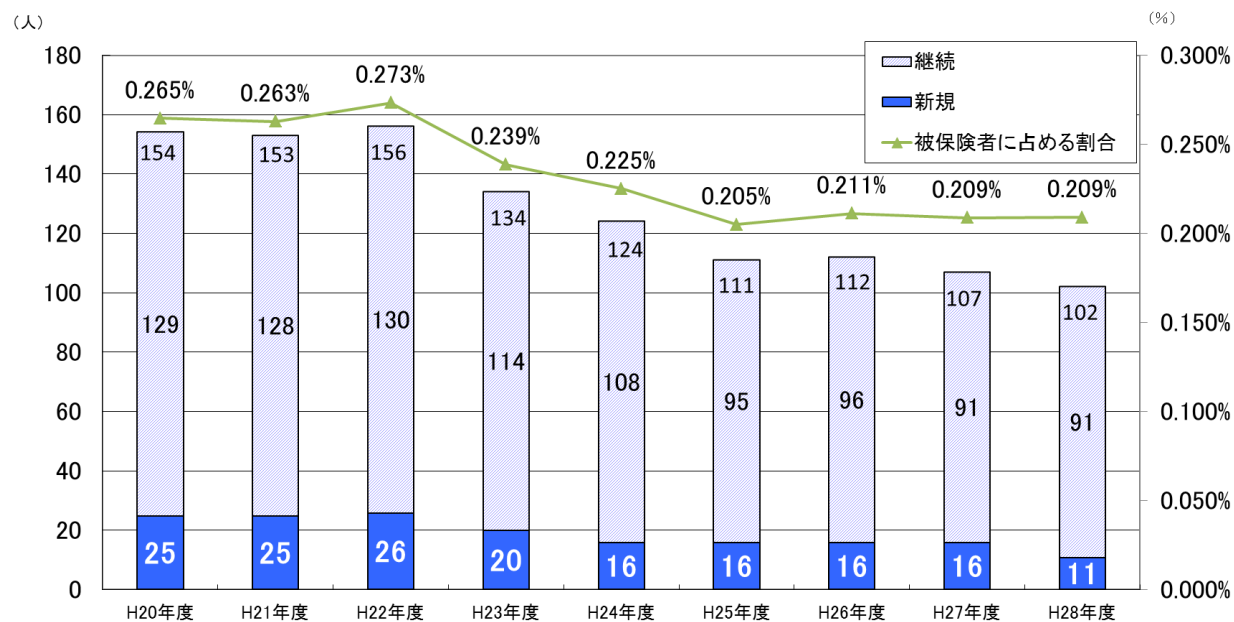
(1) 第1期データヘルス計画

平成22年度から糖尿病性腎症重症化予防事業を開始し、平成25年度にはCKD（慢性腎臓病）重症化予防事業、平成26年度に脳卒中再発予防事業、平成27年度からは心筋梗塞発症・再発予防事業を実施しており、第1期データヘルス計画で設定した目標に向けた事業を展開しています。平成28年度までの実績では、糖尿病性腎症等の重症化等に伴う透析移行者数、脳卒中・心血管疾患による入院レセプト（入院数）ともに減少傾向にあり、一定の効果を上げています。

今後はこれらの効果の更なる拡大を目指し、事業の拡充を図る必要があります。

また、高齢化の進展に伴い、医療と介護が連携した取組が必要です。

【人工透析者数の推移】



呉市国保健康管理増進システムより

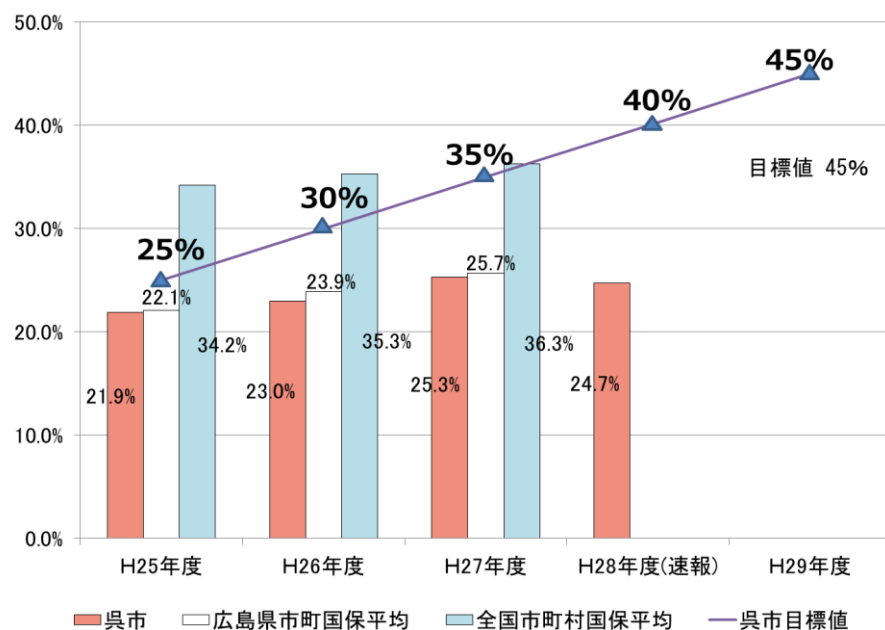
(2) 第2期特定健康診査等実施計画

平成25年度から平成29年度までの特定健診及び特定保健指導の実施状況と目標値は次のとおりです。

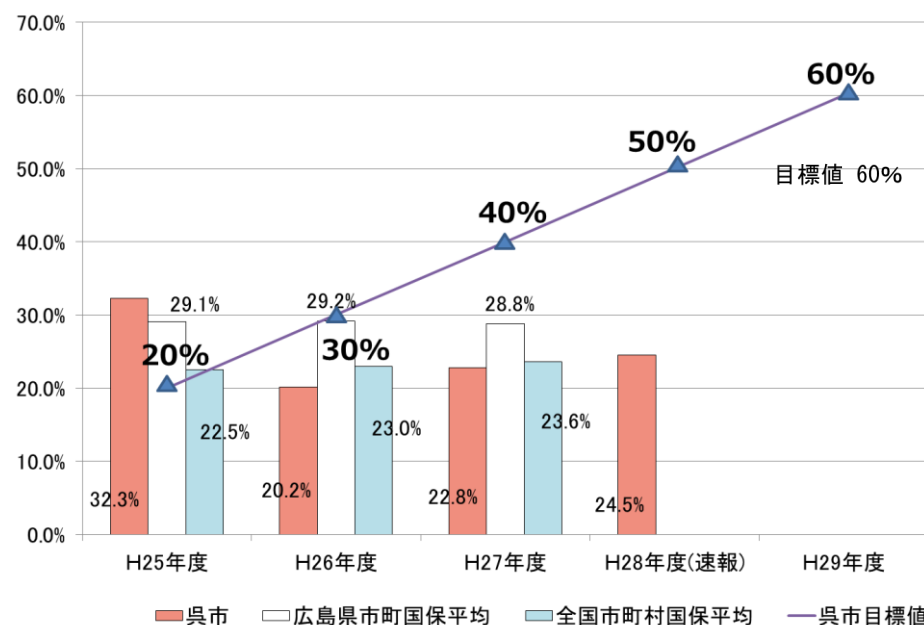
これらの受診率及び実施率の推移をみると、平成29年度の特定健診受診率の目標値である45%、特定保健指導実施率の目標値である60%は達成困難な状況です。

特定健診・特定保健指導ともに、受診率及び実施率向上対策が必要です。

【特定健診受診率の推移】



【特定保健指導実施率の推移】



※ 平成28年度の値は平成29年10月時点のもの

5 特定健康診査等実施計画に関するアンケート調査結果の概要

【調査概要】

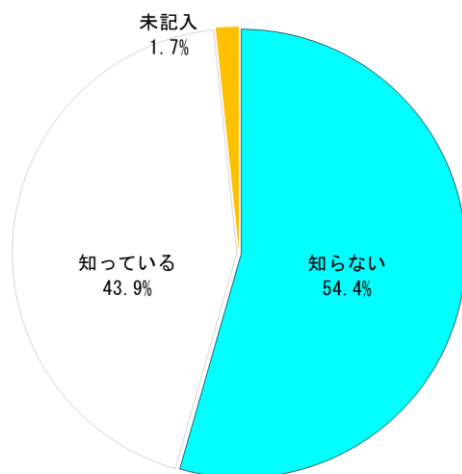
- (1) 目的 第3期呉市特定健康診査等実施計画を策定するに当たり、今後の特定健診事業や受診勧奨事業の方向性を明確にするため、対象者のニーズや特定健診に対する意識を調査しました。
- (2) 対象者数 4,000人（40歳以上の呉市国保被保険者から無作為に抽出）
- (3) 実施時期 平成29年8月
- (4) 有効回答数 1,628件（回答率 40.7%）

【調査結果】

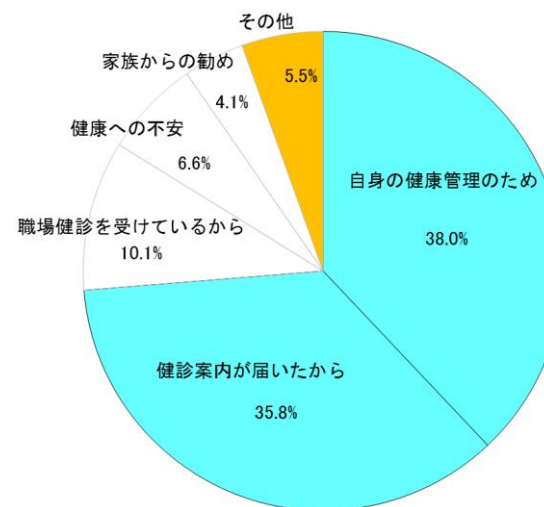
- (1) 今年度から始めた特定健診の自己負担額の無料化を知らない人が半数を超えていること（54.4%）が確認できました。
- (2) 特定健診を受けるきっかけ等に関する質問では、「自身への健康管理のため」（38.0%）及び「健診案内が届いたから」（35.8%）との回答の多さが顕著でした。

この調査結果を受け、今後は、より効果的な特定健診に関する広報を行うと同時に、健康管理に関する個人の価値観を高める啓発、個別の受診勧奨の強化及び継続受診を勧める環境の整備に努めます。

【自己負担額の無料化】



【特定健診受診のきっかけ等】

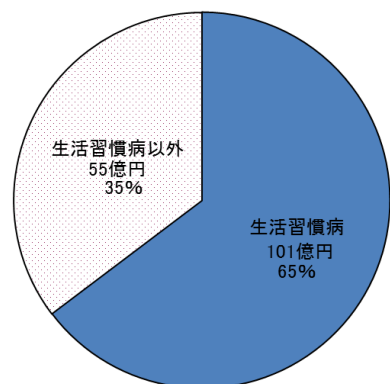


6 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

健康・医療情報等の分析に基づく呉市の主な健康課題は次のとおりです。

- (1) 人工透析へ移行することにより、高額な医療費を要することとなり、また、透析移行者のQOL（生活の質）を著しく低下させることとなるが、本市では新規透析移行者が毎年16人程度発生していること。
 - (2) 平成27年度の特定健診受診率が25.3%、特定保健指導実施率が22.8%であり、全国平均及び県平均と比較し低率であること。
 - (3) 呉市の医療費のうち心筋梗塞や脳卒中等の発症を促す生活習慣病に係る医療費が約65%を占めており、最も多くの医療費が掛かっていること。
- 現在も上記の健康課題を解消するための事業を実施し、一定の効果を上げているところですが、更なる対策が必要です。

【H28 レセプトの状況（医療費）】



生活習慣病の主な内訳（医療費（降順））

- | | |
|----------|-----------|
| ① 高血圧症 | ⑧ 心不全 |
| ② 糖尿病 | ⑨ 脳出血 |
| ③ 脂質異常症 | ⑩ 高尿酸血症 |
| ④ 慢性腎不全 | ⑪ 大動脈疾患 |
| ⑤ 虚血性心疾患 | ⑫ 糖尿病性腎症 |
| ⑥ 脳梗塞 | ⑬ 糖尿病性網膜症 |
| ⑦ 肝機能障害 | |

呉市国保健康増進管理システムより

呉市国保の特性や4から6で掲げた課題、更には国保の県単位化の動向を踏まえ次期計画を策定

7 次期計画の具体的取組

(1) 基本方針

呉市国保被保険者の健康寿命の延伸と医療費の適正化のため様々な保健事業に取り組みます。

(2) 主な保健事業

- ア 医療と連携した糖尿病性腎症及びCKD（慢性腎臓病）重症化予防事業
- イ 特定健診・特定保健指導事業
- ウ 医療と連携した脳卒中再発予防及び心筋梗塞発症・再発予防事業
- エ 医療・介護と連携した骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業

8 スケジュール

